

奈良～室町時代 文化史

5 次のA～Dの文章を読み、あとの各問いに答えよ。

A 律令国家が形成され、国家意識が高まった奈良時代には、貴族の間では、教養として漢詩文^①をつくることが重んじられ、公文書も漢文で書かれた。また、天皇による国家統治を明確にするために『古事記』や『日本書紀』の編纂が行われ、諸国の特産物や地名・伝承などを記した『風土記』^②も編纂された。

問1 下線部①に関して、現存する最古の漢詩集の名を、漢字で記せ。

問2 下線部②の編纂と関係のない人物名を、次の中から一つ選び、符号で答えよ。

ア. 太安万侶 イ. 石上宅嗣 ウ. 舎人親王 エ. 稗田阿礼

問3 下線部③に関して、現存する『風土記』の中で、ほぼ完全な形で残っているものを、次の中から選び、符号で答えよ。

ア. 『豊後国風土記』 イ. 『常陸国風土記』 ウ. 『播磨国風土記』
エ. 『出雲国風土記』

B 平安時代の中期になると、国家仏教の統率力が弱まり、聖と呼ばれる民間布教者が現れた。また、摂関家が絶大な権力を握ったことによって出世の望みを失った貴族の間では、阿弥陀仏を信じて極楽浄土への往生を願う浄土信仰が広まった。やがて、この風潮は上級貴族の間にも広がり、阿弥陀堂が盛んにつくられるようになった。^④^⑤^⑥

問4 下線部④に関して、10世紀半ばに、諸国を遊行して民衆に念仏の功德を教えた人物名を、次の中から選び、符号で答えよ。

ア. 一遍 イ. 貞慶 ウ. 空也 エ. 定朝

問5 下線部⑤に関して、『往生要集』を著し、念仏による極楽往生の方法を説いた人物名を、次の中から選び、符号で答えよ。

ア. 源信 イ. 忍性 ウ. 法然 エ. 慶滋保胤

問6 下線部⑥に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選び、符号で答えよ。

ア. 北条重時は極楽寺を建立したため、極楽寺殿と呼ばれた。
イ. 11世紀半ば以降、末法思想が流行し、上級貴族も浄土信仰に傾いた。
ウ. 藤原道長が建立した法成寺は「極楽にたがふ所なげなり」といわれた。
エ. 藤原頼通は、宇治に阿弥陀堂を建立し、その壁に阿弥陀来迎図を描かせた。

C 鎌倉時代には、中国との間に正式な国交は開かれなかったが、私的な貿易や僧侶の留学などを通じて、中国から日本に新しい文化が流入した。元が建国されると、南宋から多くの禅僧が来日し、新しい文化の形成に大きな役割を果たした。^⑦^⑧^⑨

問7 下線部⑦に関する記述として正しいものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 天台宗の僧であった栄西は、1191年に帰国し、臨済宗とともに、茶の種子を伝え、『喫茶養生記』を著した。
- イ. 比叡山や高野山で修行した日蓮は、天台宗の根本経典である法華経こそが釈迦の正しい教えであると主張した。
- ウ. 延暦寺で学んだ親鸞は、師の絶対他力の教えをさらに徹底させて、悪人正機説を唱えた。
- エ. 天台宗を修めた道元は、帰国後、坐禅第一の曹洞宗を開いた。『正法眼蔵随聞記』は彼の主著の一つである。

問8 下線部⑧に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選び、符号で答えよ。

- ア. 伏見天皇の皇子である尊円入道親王は青蓮院流の書道を創始した。
- イ. 藤原隆信は「伝源頼朝像」や「平重盛像」などのすぐれた似絵を残した。
- ウ. 重源は大仏様によって東大寺の再建を進めた。
- エ. 加藤景正は尾張の瀬戸に窯を築き、陶器の生産を行ったという。

問9 下線部⑨に関して、北条時宗の招きで来日し、鎌倉に円覚寺を開いた僧侶の名を、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 一山一寧
- イ. 蘭溪道隆
- ウ. 無学祖元
- エ. 虎関師錬

D 室町幕府は臨済宗を保護して、五山の制度を整えた。五山では、漢詩文を中心とした五山文学が栄えた。この文学が最盛期を迎えたのは、北山文化の頃であった。

問10 下線部⑩に関して、臨済宗の中には、室町幕府の保護・統制下になく、林下として自由に民間布教などの活動を行った寺院があった。そのうち、一休宗純が住持であった寺院名を、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 天竜寺
- イ. 大徳寺
- ウ. 南禅寺
- エ. 妙心寺

問11 下線部⑪に関して、代表的な五山文学僧で、その名が明にまで届いたといわれる禅僧は誰か。次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 高弁
- イ. 如拙
- ウ. 義堂周信
- エ. 周文

問12 下線部⑫に関する記述として正しいものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 金閣は、寝殿造風に大仏様を折衷した、この文化を代表する建築である。
- イ. 竜安寺の石庭に代表されるように禅宗寺院などの作庭に枯山水が導入された。
- ウ. 大和の観世座から出た観阿弥・世阿弥父子は、芸術性の高い猿楽能を大成した。
- エ. 慈照寺の東求堂同仁斎は近代の和風住宅の原型となったものである。